

みずほCustomer Desk Report 2019/12/03 号(As of 2019/12/02)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示値	109.67
TKY 9:00AM	109.54	1.1018	120.68	1.2911	0.6765		
SYD-NY High	109.73	1.1091	121.01	1.2949	0.6826		
SYD-NY Low	108.92	1.1003	120.53	1.2897	0.6762		
NY 5:00 PM	108.97	1.1079	120.72	1.2941	0.6819		
NY DOW	27,783.04	▲ 268.37	日本2年債	-0.170	1.00bp		
NASDAQ	8,567.99	▲ 97.48	日本10年債	-0.050	3.00bp		
S&P	3,113.87	▲ 27.11	米国2年債	1.6030	▲ 0.69bp		
日経平均	23,529.50	235.59	米国5年債	1.6432	1.98bp		
TOPIX	1,714.49	15.13	米国10年債	1.8215	4.83bp		
シカゴ・日経先物	23,215.00	▲ 115.00	独10年債	-0.2815	8.05bp		
ロンドンFT	7,285.94	▲ 60.59	英10年債	0.7380	4.15bp		
DAX	12,964.68	▲ 271.70	豪10年債	1.0745	5.50bp		
ハンセン指数	26,444.72	98.23	USDJPY 1M Vol	4.88	0.40%		
上海総合	2,875.81	3.83	USDJPY 3M Vol	5.33	0.13%		
NY金	1,469.20	▲ 3.50	USDJPY 6M Vol	5.90	0.10%		
WTI	55.96	0.79	USDJPY 1M 25RR	-0.73	Yen Call Over		
CRB指数	177.12	0.47	EURJPY 3M Vol	5.70	0.02%		
ドルインデックス	97.89	▲ 0.39	EURJPY 6M Vol	6.20	0.00%		

東京	ドル円は109.54レベルでオープン。中国の良好な経済指標を背景にアジア株がほぼ全面高の展開。ドル円はつれ高となり109.73付近まで上昇。その後も堅調な推移が続き109.63レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.63レベルでオープン。中国の米香港法案に対する制裁措置を受けたリスクオフと良好な中国11月製造業PMIを受けたリスクオンが交錯する立ち上がり。その後トランプ大統領が「アラジン」とアルゼンチンの鉄・アルミニに追加関税を課すとのペトロラインでリスクオフが強まり109.52付近まで売られる。ただ値幅は限られ109.55レベルでNYに渡った。ボンドルは、1.2918レベルでオープン。英紹選挙を今月12日に控え慎重な立ち上がり。一時1.2897まで下落する場面もあったが、英11月製造業PMIが予想を上回ると1.29台を回復。その後はドル売りの反動でボンドに買いが入り1.2934まで買われ結局1.2931レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	109.55レベルでNYオープン。朝方は、米11月製造業PMIが上方改定されたものの、10時発表の米11月ISM製造業景況指数が予想を回ったことから、売りで反応し、109.20まで急落する。その後、貿易長官が「米中貿易協議で合意がなければ、トランプ大統領は対中関税を引き上げる」と述べたことが伝わると、リスクオフの円買いが強まり、109.00まで下落幅を広げる。午後はコウイタ米大統領顧問の「年末までに中国との合意は可能で、現在、第一段階合意が書面化されている」との発言に109.17まで値を戻すが、米株が安値圏で推移する中、再び売り圧力が強まる。109円を割り込み、108.92まで安値を更新するが、200日移動平均(108.92)がサポートとして意識され、この水準で下げ止まる。終盤は109.00近辺で小動きとなり、108.97レベルでクローズ。一方、ユーロドルは、1.1019レベルでNYオープン。朝方はガルトECB総裁の議会証言が行われたが、手掛かり材料が乏しかった一方、米11月ISM製造業景況指数の結果に対するドルでユーロ買い戻しが加速し、1.1089を付ける。買い一巡後、1.1080近辺で小動きとなり、1.1079レベルでクローズ。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月2日	17:55	独 マーケット製造業PMI・確報	11月 44.1	43.8
	23:45	米 マーケット製造業PMI・確報	11月 52.6	52.2
12月3日	00:00	米 ISM製造業景況指数	11月 48.1	49.2

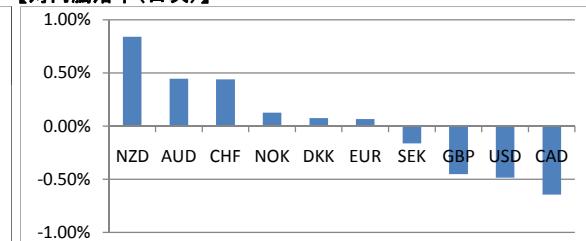
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月3日	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	10月 0%/-1.8%	0.1%/-1.2%
12月4日	02:30	欧 クレレECB専務理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 師走のドル円

2019年も早いもので、気付けば12月である。米企業決算等との関係もあり、季節性として年末にかけてドルは上昇しやすいという話はよく耳にする。「年末」の定義付けにもよるわけだが、12月単月でドル円という通貨ペアはどうなっているのか見てみると、過去20年(1999年～2018年)では陽線引け(12月始値～終値で見て上昇)が11回、陰線引け(始値～終値で下落)が9回。意外に、かろうじて上昇傾向が優勢ということであった。しかし、ここ数年を見ると昨年まで3年連続で1月は陰線引けとなっており、今年初のフラッシュクラッシュは記憶に新しい。更に今年は12月中旬に、対中関税引き上げの期限も控えている。ドル円は年初来の値幅がここまで8.30円(104.10-112.40)に留まり、このままでいれば前年の過去最小値幅9.99円(104.56-114.55)を更新しそうな雰囲気ではあるものの、安心して休暇に入るためにも、年末年始への備えは欠かさないようにしていただきたい。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ブル	ペア	ブル	ブル	ペア	ブル	ペア	ブル	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ペア	ブル	ブル	ブル	ペア	ブル	ブル	ペア	ペア

ブル
ペア
13 7